

整備検討委員会 市へ廃校となる3小学校の跡地利用の検討結果を報告 小中一貫校の開校は3年後なのに 12月中に市の方針策定 「南小倉小学校の跡地は民間事業者に売却!？」



宇治市は、9月28日に開催された総務常任委員会に、西小倉地域の小中一貫校計画で廃校となる3小学校(南小倉、西小倉、北倉)の跡地利用の方向性について報告しました。

宇治市教育委員会(以下「市教委」)は、2026(令和8)年4月の開校を目指して、3小学校を廃校し西小倉中学校に統合する(仮称)西小倉小中一貫校計画をすすめています。

市教委は、小中一貫校の整備に関して、22年1月26日に、外部委員会の西小倉地域小中一貫校整備検討委員会(以下「整備検討委員会」)を立ち上げ検討を進めてきました。

整備検討委員会は、小中一貫校の学校施設整備等に関

跡地活用―地域部会から整備検討委員会に報告 南小倉小は民間事業者に売却!?

整備検討委員会は、地域部会から報告された検討結果を市に提出し、総務常任委員会に報告しました。

地域部会では、わずか3回の部会内でのワークショップを経て、検討結果をまとめています。3小学校跡地活用

することを協議する「学校部会」と、廃校となる3小学校の跡地活用等に関することを協議する「地域部会」の2つの部会で構成されました。左記図参照。

整備検討委員会は、地域部会から報告された検討結果を市に提出し、総務常任委員会に報告しました。

多世代交流施設として検討。「みんなの居場所」

北小倉小学校
スポーツ振興の場として検討。「スポーツ・遊びの場」
南小倉小学校

民間事業者へ売却を検討。「新たなくらしの場」

市は、2回の地域説明会を経て、今年12月を目途に、3小学校の跡地利用に関する基本的な方針を策定するとしています。

しかし、小中一貫校の開校は3年後の26(令和8)年です。その間、子どもたちは、友だちと一緒に、小学校の校舎で学んでいます。それなのに、9月8日に「地域部会から検討結果の報告があった」からとして、わずか20日間を経て委員会に報告しています。あまりにも拙速です。

「学校部会」と「地域部会」は一体です。小中一貫校のグラウンドが狭く、体育の授業や放課後の活動が確保できるのかなど、多くの課題が山積みです。

3小学校の跡地利用については、保護者や地域の要望に真摯に向き合い、性急に進めるべきではありません。

西小倉地域

小中一貫校整備検討委員会

■学校部会

西小倉小、北小倉小、南小倉小、西小倉中の学校運営委員4名、各小中学校校長4名、各小中学校PTA4名、西小倉地区コミュニティ推進協議会会長・副会長、西小倉自治連合会会長など17名で構成

■地域部会

西小倉地区コミュニティ推進協議会副会長、西小倉自治連合会副会長、西・南小倉体振会長、NPO法人まちづくりねっと・うじ、働きたいおんなたちネットなど10名で構成

説明会の開催

※市内全域から参加できます。

- ・第1回 10月18日(水)
19時～
西小倉地域福祉センター
- ・第2回 10月20日(金)
19時～
西小倉地域福祉センター

日本共産党
宇治市会議員団

議員団だより 2023年10月15日号

宇治市宇治髭番33 宇治市役所内

TEL: 0774-22-3141 (内線2817) FAX: 0774-24-7884



市議員への
お声はこちら